



“私の挑戦”

ビジネスプラン誕生の裏側
受賞企業紹介

第5回 チャレンジ部門 グランプリ 受賞

創業以来のちらし寿司に新しい価値を！
ワンハンド冷凍ちらし寿司が
ハレの日に笑顔を咲かせます



ブランド
片手で食べられる
ワンハンド冷凍ちらし寿司事業



桔梗寿司は1960年に祖父が創業した家族経営の寿司店です。経営が厳しい時期もあり、一時私は継ぐことを諦め、別の道を志して留学も経験しました。しかし就職後も「やはり自分で商売をしたい」という思いは強く、ワーキングホリデーで訪れた海外で寿司の可能性に改めて気づき、家業を継ぐことを決め寿司職人の世界へ飛び込みました。

祖父から両親へと受け継がれてきた桔梗寿司に、私の英語力と海外経験を掛け合わせ、新たな店づくりに取り組みました。英語表記メニューはもちろん、グルテンフリーにも対応しています。さらにメニューを閉じたタイミングで注文を取る等、欧米のお客様にとって心地よい接客を徹底しました。二条城や京都御所に近い立地も功を奏し、今ではお客様の9割以上が海外からのお客様が占めるまでになりました。

今回の受賞プランであるワンハンド冷凍ちらし寿司「手づつみちらし」は、

コロナ禍を機に誕生しました。海外からのお客様が途絶え、改めて日本のお客様に喜んでいただける新商品をと考えたのがきっかけです。創業時から味を受け継ぐ名物のちらし寿司を、ご家庭で気軽に楽しめるハレの日の逸品にしたいとの想いから、2年の歳月をかけて試行錯誤を重ね、錦糸玉子で巻いた俵型のちらし寿司を、特別感のある竹の皮で包みました。冷凍方法にもこだわり、解凍のしやすさとおいしさを追求しました。現在、ウェブサイトで販売も開始しており、お客様からは「かわいい」「華やか」「お持たせに良い」といったうれしい声を多数いただいています。

将来的には、多くの観光客が行き交う場所にちらし寿司の専門店を開き、京都の新たな名物へと育てることを目標に、日々奮闘しています。

👑
ビジネスプランの詳細はこちら



株式会社 桔梗屋

京都市中京区油小路通丸太町下る大文字町43
☎ 075-231-7361
<https://kikyo-sushi-kyoto.com>

プロフィール

1960年創業の寿司店「桔梗寿司」の三代目。立命館大学文学部英米文学専攻卒業。英語教師を志すも大学卒業後にカナダとオーストラリアでのワーキングホリデーで寿司文化の可能性に気づき、家業を継ぐことを決意。海外経験を活かした接客に加え、「酒ディプロマ」の資格を取得し、食を通じて海外からのお客様に日本文化を伝えている。

京商の支援

バイヤーへの売り込み型の逆商談会等、ビジネスマッチングの機会を提供するほか、将来のショップ展開も見据えた多角的な販路拡大のアドバイスや広報支援で、この事業を応援します。

佐治 幹生



工房 武久

京都市上京区六軒町通一条上る若松町358

TEL 075-864-4311

<https://bukyu.jp/>

プロフィール

1969年京都生まれ。1987年平安武久に入社以来38年間、伝統工芸の世界に身を置いている。経済産業省認定伝統工芸士（京人形・甲冑部門）。

2005年より父親、息子とともに三代で営む「工房 武久」として、伝統的な鎧兜の製造・卸を行っている。現在は京甲冑の製造技術を活かし、IDOMU!シリーズを展開中。

ブランド名

いども

京甲冑の伝統工芸士がIDOMU!

応援アイテムを展開する



第5回 チャレンジ部門 優秀賞 受賞

節句だけじゃない！京甲冑の新しいカタチ 挑戦する人を力強く応援するアイテム 「IDOMU!」シリーズ

1935年に祖父が京甲冑工房を創業して以来、端午の節句を彩る「鎧兜飾り」を製造するメーカーとして続いています。

私も幼い頃から工房に出入りし、家業を継いでいくものと思っていましたが、身内からの反対もあり別の道へ進みました。しかしその後、親族から「やはり継いでほしい」と請われ、大きな葛藤を抱えながらも、この京甲冑の世界に飛び込む決意をしました。その後に芽生えた反骨心にも似た想いが、今も私の原動力となっています。少子化や住環境の変化により、従来の需要は確実に減少しています。節句飾りに特化した販売だけでは将来を見通せないと感じ、新たな活路を見出すため、セミナーへの参加や専門家、友人との意見交換等を通じて積極的に情報収集に努めました。中でも、ある中小企業診断士の先生との出会いが私の考えに大きな影響を与えてくれました。そこで見つけた「挑戦する」という新しいキーワードが、今回の受賞ブランド「IDOMU!」シリーズ誕生につながりました。

「IDOMU!」シリーズは、ビジネスやスポーツ等、何かに「挑む」人を応援するというコンセプトのもと、従来の鎧兜の枠を超えた新しい京甲冑の形を提案するものです。節句に限定せず、日常のインテリアとしてスタイリッシュに飾れる鎧兜飾りはもちろん、京甲冑の技術を応用したパネル、サコッシュ、チャーム等も展開。アクセサリーづくりのワークショップも開催しています。

今後は「IDOMU!」シリーズの販路拡大と認知度向上に注力しながら、将来的には住宅インテリア分野への展開も視野に入れています。京甲冑が特別な日だけのものではなく、日々の暮らしに溶け込む身近な存在となるような提案をしていきたいと考えています。伝統を守りつつ、技術と情熱をもって、常に新しい挑戦を続ける「工房 武久」のこれからに、ぜひご期待ください。

👑
ビジネスプランの詳細はこちら



活用できる補助金情報や、商談会・展示会出展等の販路開拓の機会を提供し、伝統産業の振興とともに挑戦する人を応援するこの事業を後押ししていきます。

京商の支援

